「お金はどうやって得られるのか？」

－職場体験を通して勤労と賃金の関係を知る－

新潟県新発田市立豊浦中学校教諭　恩田久雄

事例のテーマ

「お金はどうやって得るのか」

年度初めの計画において「総合的な学習の時間」を中心に「金銭教育」を織り込んでいくことになった。というのは，２年生が職場体験学習を実施することになっており「金銭教育」のねらいの側面である「お金はどうやって得るのか」を体験的に学べるからである。

また，豊浦地区では小中連携した青少年育成協議会がある。14年度「学校週五日制」について保護者，小学生，中学生そして教師らが意見を述べ合う小中合同の公開討論会が行われた。15年度は「お小遣いとお手伝い」をテーマに討論が行われた。もらえるお金と報酬のあり方について意見交換がなされた。

以上のことを踏まえて２年生の総合的な学習の時間を中心に金銭教育を実践した。

事例の位置づけ

1 総合的な学習の時間の取り組み

本校の「総合的な学習の時間」の大きなテーマは「郷土豊浦」である。新発田市との合併が行われたが，昨年度より豊浦町を調べ，地域と関わり合う学習を展開してきた。１年生は「食文化」「遊び文化」「環境」「地域の福祉」「観光マップづくり」という五つの小テーマごとに分かれて課題学習を行った。

１年生では多方面から地域を見つめ直したが，そのなかに「職場訪問」を必ず行うことにした。地域と人の暮らしを見つめ直すのであるが，この「職場訪問」が２年生での「職場体験学習」につながっていく。広く学んだ経験をふまえて，３年生では具体的な自分の進路実現に向けて取り組んで行けるよう系統立てた。

進路学習や行事活動とも関連を図り，内容的には取材，体験，まとめ，発表とまさに総合的な活動を繰り広げている。

当校２年生では１学期，以下のような金銭に関わる教育活動を行った。

９月は夏休み中の職場体験学習での体験と資料を持ち寄り，さらに内容を深める学習を行った。

５月：家庭科　「消費と環境」…内容：消費生活について考える
６月：職場体験学習事前指導…「お金について考える」
８月：職場体験学習でのインタビュー「時給と月給」「仕事を続けて行くうえで大切なこと」等

2 ＰＴＡ行事「職業講話」の実施

「職業講話～明日に夢を～」では，仕事に就く意味や生き甲斐など精神面での涵養をねらいとした。今現在の夢や希望をふくらませ，職業に就くことで自己実現を果たす喜びがあるということを理解して欲しかった。フローラルアーティスト，市職員として野球指導者，地元サッカーチーム事務局，介護福祉士といった多彩な方面から講師を募り，感銘深い講話をして頂いた。これには，ＰＴＡ役員の方々の尽力が大きかった。

中学生という発達段階では仕事内容や報酬といった現実面よりも，より幅のある，本質的な視点での指導が求められている。職場体験学習を行うにあたって各事業者の方々と打ち合わせしたとき，「金銭や報酬以前に学ぶべきことがあるのではないか」という意見があった。具体的には「人に対するときのマナー，目上の人への礼儀，服装，態度，そしてなぜ働くのかという本質的なこと」を指している。職場体験学習を終えるとき，わざわざ時間を割いて，「何のために働いているのか」「どうしてこの職業を選ぶのか」を語りかけてくださった社長さんもおられた。

以上のことから，意識面での涵養とともに，生活して行くという経済的な側面にも触れ，金銭教育にもつなげていった。

ね ら い

1 望ましい勤労観の育成

「お金はどうやって得るのか」というテーマに沿って学習をすすめる。働くことによって報酬としてお金を得る，そのことを体験的に学ばせたい。

2 健全な金銭感覚を養う

働いた結果として得たお金が本人にとってどんな価値があるのか。金銭を価値あるものとして受け止め，役立てていこうとする意識を育てたい。

展開の特色

1 アンケートの実施（別紙参照 資料（→p.334））

以下はアンケートの各質問項目から読みとって欲しい内容である。

（1）～（7）からは職場体験学習を終えての自己充実度
（8）は職業人としての資質
（9）～（10）からは勤労観
（11）は報酬としての金額
（12）～（13）は自己の未来像

収入の満足度は勤労観によって異なる。そこで，本時では調べた収入によって何が購入できるのかを比較検討させ数字の実態を感じ取らせたい。

2 グラフでの表現

自分の経験や考えを他者に伝える手段は多々ある。記号の中でも非音声言語である文字，写真，イラスト，模型といったビジュアル的なものは，文字以上に直感として視覚に訴えてくる。言葉では伝わりにくくとも，視覚によって即座にイメージできることが多い。特に，比較や推移といった情報は図形化しないと読みとりにくい場合がある。その図形化のひとつがグラフである。１学期の「職場取材」では職場の様子を色つきのイラストで表現してもらった。職業の種類を分類する作業では表を用いて発表した。今回は，アンケート後，その集計をグラフで表してもらい，体験内容を視覚に訴え，見る人が直感で把握できるようにする。

3 データの共有と分析

各職場で体験したデータをグラフ化する。その表を掲示し各自で見て回り，比較，分析，検討することで，自分が体験しなかった職場での情報も共有することができる。特に，賃金の比較や満足度はすぐに判読できるであろう。そのことで，働く内容と報酬との関係を読み取らせたい。この掲示の後により深まりのある，各職場でのまとめ活動ができる。

構成

❶ 以下は，総合的な学習の時間を中心とした学習活動の指導計画表である。

学期	月	活動内容	金銭教育その他
1学期	4	○1年間の流れの説明	・家庭科「悪質商法」
	5	職場取材	
	6	○職場取材に必要な基礎技術の復習 ・職業を選んで電話で応対する。 ・面接の心得説明と，職業選び ・インタビューの仕方 ・挨拶状の書き方 ○職業に就いている人に取材する。 ○グループごとにまとめ，発表する。 ○集めた情報をまとめ発表する。 職場講話　「明日に夢を」 ○特色ある職業経験のある先輩から話を聴き，職業に関心をもつ。 ○職業を通じて自己実現をはかる喜びを感じる。 ○自分にあった職業を考える。	・全体指導　「収入と生活」
	7 8	職場体験学習 ○保護者と協力して自分が興味のもてる職場を見つけ出し，了解を得る。 ○実際に職場で働き，経験してみる。 ・仕事内容，雰囲気，人間関係　など	・職場へのアンケート 「時給，月給」 「仕事を続けるのに必要なこと」
2学期	9	○文章やイラスト，グラフなどを用いて，体験した職業を，分かりやすくまとめる。 ○見る人，聴く人に効果的に伝わるように発表する。 ・グラフづくり　・文集まとめ	・お小遣いアンケート ・道徳「お金の使い方」 ・職場体験学習アンケート ○グラフづくり ○収入の価値
	10	・体験発表	・まとめ活動，発表

❷ 職場体験後の学習活動

・7月～8月		職場体験学習
・9月16日（火）：	5・6限	事業所へのお礼状，感想文づくり
・9月25日（木）：	5限	体験学習後のアンケート記入
	6限	集計，グラフ作成の分担決め
・9月30日（火）：	4限	職場体験学習のアンケートグラフ作成
	5限（本時）	分析と意見発表
・10月7日（火）：	5限	職場体験学習文集原稿記入
	6限	↓　発表用まとめ活動準備
・10月14日（火）：	5・6限	↓

生徒の評価

❶ 身につけさせたい力

職場体験学習を通じて身につけさせたい力は以下の通りである。

❶ 勤労の意義を理解する。
❷ 勤労と賃金との正しい関係を考える。
❸ 人と協力して働く。
❹ 体験を振り返り，経験したことを文章や図で表す。（本時）
❺ 資料を読みとり適切な分析ができる。（本時）
❻ 言語，図形や態度で他者に伝える。

本時での身につけさせたい力は❹❺である。❹❺の内容は「展開の特色」の❷❸に示すとおりである。

❷ 評価の仕方

以下のような観点から生徒の変容をみ取り評価する。

評価項目	評価の手だて
❶ 事実から情報を集める。	・記入されたプリント
❷ 集めた情報を分析する。	・学習時間の動き，表情
❸ 知り得たことを的確に他者に伝達できる。	・作図の様子
❹ 勤労と収入の関係を理解できる。	・感想用紙

本時の展開

本時の目標

1 本時の目標　・体験学習の内容をより深める。
[1] 職場体験学習の視点から
① 事実から情報を集める。
② 集めた情報を分析する。
③ 知り得たことを的確に他者に伝達できる
[2] 金銭教育の視点から
① お金はどうやって得るのかが理解できる。
② 収入はどのくらいの価値をもつのかが推測できる。

2 題材名
「職場体験学習を終えてのアンケートをまとめる」～仕事とお金の関係を見つけ出そう～

4限

時間	学習内容	学習活動	教師の支援	備考
導入（10分）		グループ活動 ・グラフ作成記入方法を確認する。	・グラフ作成と今日の流れの説明	・集計用紙 ・大洋紙 ・色上質紙 ・はさみ ・のり ・角封筒 ・ポスカ ・マジック ・コンパス ・電卓
展開①（40分）	グラフづくりの仕上げ	グループ活動 ・作図/見出し ・張り合わせ ・後かたづけ ・グラフを掲示する。	・机間指導し記入に戸惑う生徒を指導する。 ・やり方の不明な生徒への指導	

給食～昼休み

5限

時間	学習内容	学習活動	教師の支援	備考
展開②（20分）	グラフの読みとり①	自由移動 ・他のグループと比較しながら見て回る。 ・読みとった内容をカードに記入する。	・グラフの見方のアドバイス ・カード記入の指導	・「職場体験分析カード」
展開③（25分）	グラフの読みとり② 考えたことをまとめる	グループ活動1 ・他のグループとの違いに気づかせる。 ・データを比較する。 （全体と自グループ，他グループ） ・気がついたことを記入する。 ・他の人の発表を聴く。 グループ活動2 ・体験活動で得た金額の価値を考える。 ・今日の学習で感じたことを記入する。	・比較材料を提示する。 （全体の集計結果） ・データの特徴と違いに気づかせる。 ・収入の価値に気づかせる。 ・勤労と収入の密接な関係を理解させる。	
まとめ（5分）	今日の学習を振り返る	・学んだことや気づいたことを記入する。		

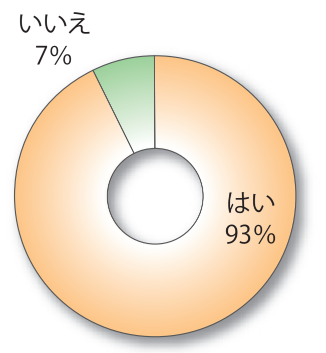
5限に「グラフをつくろう」プリントを配布し，つくりかたを理解させる。
※教師側用意：大洋紙，色大洋紙片，ポスカ，のり
　各生徒用意：はさみ，定規，コンパス，筆記具，体操着で活動

3 授業形態
総合的な学習の時間は5コースに分けて行っている。今回は職場の種類に合わせて4コースで行う。各コースに担当者がつき指導に当たるが，適宜各コースもまわり全体が把握できるようにする。

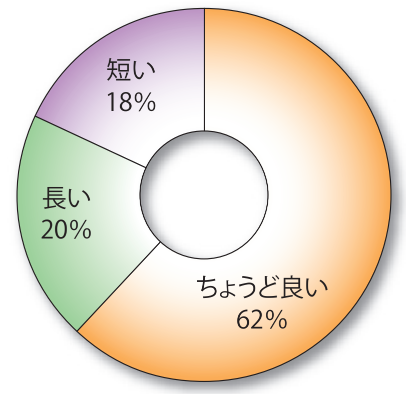
資料

職場体験後のアンケート結果

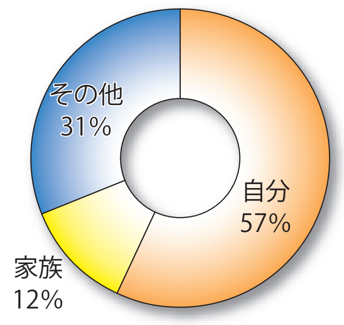
やりたい仕事でしたか?



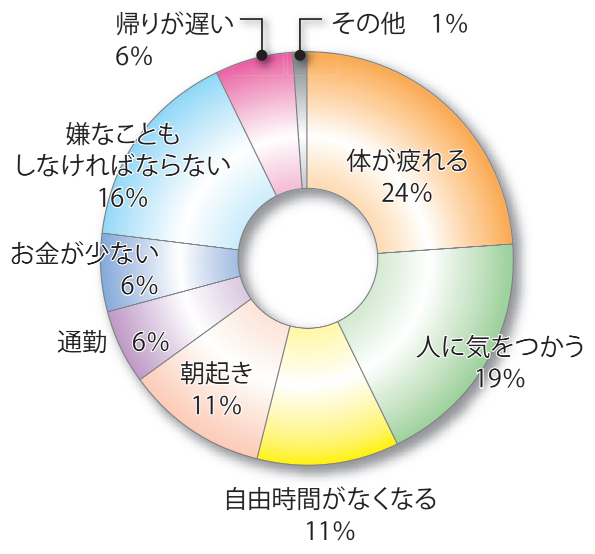
活動時間はどうでしたか?

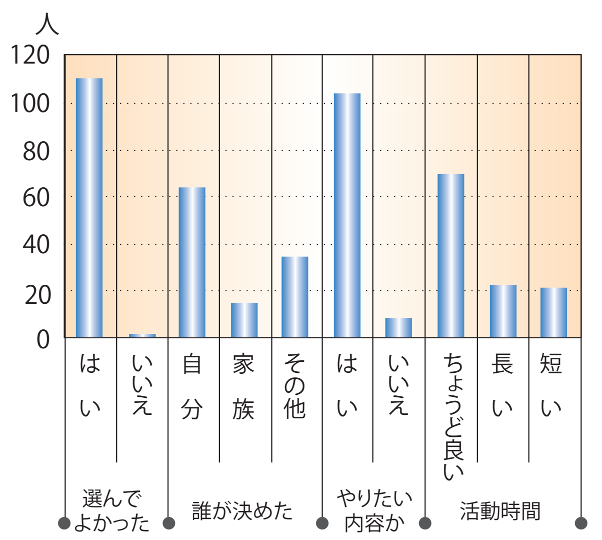


職場は誰が決めましたか?



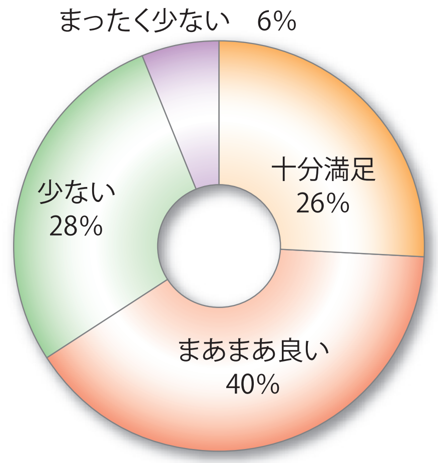
働くことにともなう苦労は何だと思いますか?



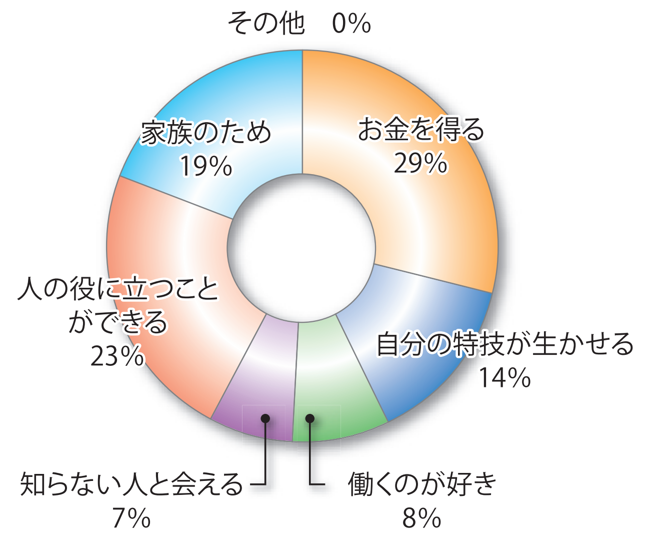


memo・注

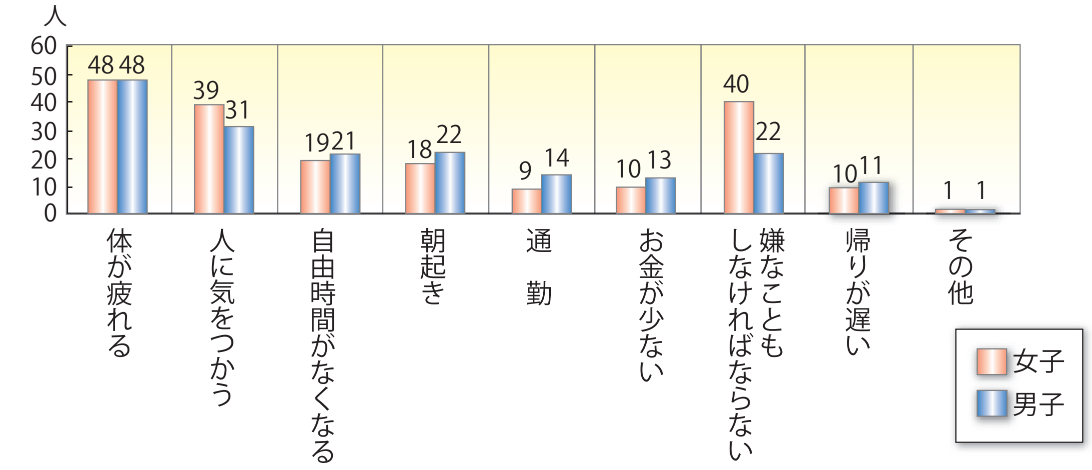
あなたが体験で知った
その職業の賃金に満足ですか?



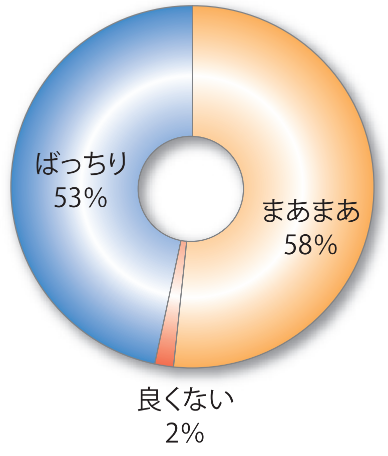
働くことの意義は何だと思いますか?



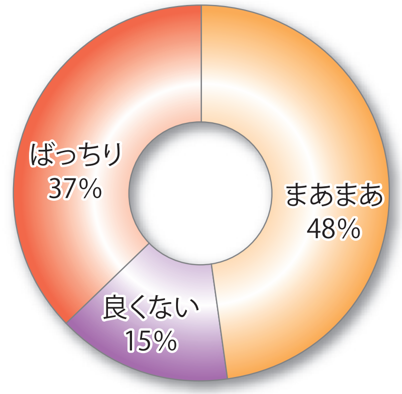
お金を得る苦労はなんだと思いますか?



あいさつや会話はうまくできましたか?



インタビューはうまくできましたか?



ワークシート

職場体験学習を終えてのアンケート

～体験学習を振り返り、内容を深めようカード～

年　組　番 氏名

体験職場名

（1）体験した職場を選んでよかったですか？
[　・はい　・いいえ]

（2）体験した職場は誰が決めましたか？
[　・自分で希望して　・家族が決めた　・その他（　　）]

（3）体験した仕事の内容はやりたかった内容でしたか？
[　・はい　・いいえ]

「いいえ」という人に･･･[　　]

（4）あなたの体験した活動時間は適切でしたか？
[　・ちょうどよかった　・長かった　・短かった]

（5）自己評価　※該当するところに○をつけましょう。

No.	質　問　項　目	バッチリ	まあまあ	良くない
1	朝の出発時刻、到着時刻			
2	ヘルメット、自転車の乗り方マナー			
3	忘れ物はなかったか			
4	先方とのあいさつや会話ができたか			
5	先方の話・説明をしっかり聞けたか			
6	インタビューがきちんとできたか			
7	仕事がしっかりできたか			
8	仲間との協力が良くできたか			
9	最後のお礼がしっかり言えたか			
10	先方とのトラブルなどなかったか			

（6）あなたの今回の体験で困ったことはなんですか？
[具体的に]

（7）今回の職場体験学習でよかったことはなんでしたか？
[具体的に]

（8）職業人として仕事を続けて行く上で大切なことは何だと思いますか？
[　]
[　]
[　]
[　]

（9）働くことの意義は何だと思いますか。当てはまる項目に○をつけなさい。（複数可）

①お金を得ることができる　②自分の特技が生かせる
③働くのが好き　④知らない人と会える
⑤人の役に立つことができる　⑥家族のため
⑦その他（　）

（10）働いてお金を得る苦労とはどのようなことだと思いましたか？
当てはまる項目に○をつけなさい。（複数可）

①体が疲れる　②人に気をつかう　③自由時間がなくなる　④朝起き
⑤通うのが大変　⑥働いた割にもらえるお金が少ない
⑦嫌なこともしなければならない　⑧帰りが遅い
⑨その他（　）

（11）あなたの体験した仕事の賃金について

① 一日の賃金はどのくらいですか？　[　円]
② 1ヵ月にするとどのくらいですか？　[　円]
③ 金額について･･･
[　・十分満足　・まあまあ良い　・少ない　・まったく少ない]
④ あなたの希望する金額はどのくらいですか？
[　円]

（12）あなたは将来どのような暮らしがしたいですか？　経済的な面も含めて想像し，具体的に書いてみましょう。

（13）質問(12)のような生活ができるためにあなたはどのような仕事をしますか？

職業名:
取り組み: